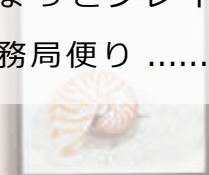


特ラ機構レポート

No.171

令和元年 11 月 1 日

令和元年度 第 2 回理事会報告	2
最新の運用連絡・調整総件数	7
加入会員紹介コーナー	12
特ラ機構 技術賞 受賞者コメント	15
2020 年 第 20 回 特ラ機構 技術賞募集	18
マラソン、駅伝・イベントの情報	19
地上デジタル放送の高度化 (4K・8K) に向けた電波発射について 「東京・名古屋地区に続き、大阪・福岡地区での実施」	20
ちょっとブレイク	21
事務局便り	23



[理事会報告] 令和元年度 第2回 理事会

1. 日 時 令和元年 10 月 9 日(水) 15 時～ 17 時
2. 場 所 中野サンプラザ 6階 フラワールーム
3. 出席者 (会長・理事長・理事・監事総数 23 名)
出 席 [理事長] 渡邊邦男
[理 事] 池上行大, 石橋 透, 上田好生, 小俣公洋, 小林 敬, 鈴木久利,
則行正信, 橋本喜代志, 右田研介, 吉田廣嗣
[監 事] 伊藤 博, 國枝義久
委任出席 [会 長] 八幡泰彦
[理 事] 小野良行, 金光浩昭, 北口紀雄, 小間新五, 永谷俊之, 西澤勝之,
萩原桂吾, 橋本秀幸, 本間俊哉

4. 令和元年度 第2回理事会 開催挨拶

理事長より時候及び多忙な時期の参会お礼の挨拶があった。その後、事務局より本理事会出欠状況の報告、配布した理事会資料の確認を行い本会議開催となった。

5. [報告事項]

(1) 運用連絡と調整の近況について 別紙資料にて説明(理事会資料: R1-2-01_a/b/bc)

- a. 運用連絡数の推移 b. イベント報告 c. 干渉報告

(2) 特ラ機構レポート

170 号は、令和元年 8 月 29 日(木) に発送済。171 号は 10 月 31 日に発送予定となっている。171 号の内容は、理事会報告に加え技術賞受賞者コメントなどを掲載する予定。また、今回のちょっとブレイクは当機構の渡辺聖尚サポートスタッフに原稿を依頼した。

(3) 各委員会報告

① 賛助委員会

今期の開催はなかった。

② 技術委員会

今期、技術委員会は開催されなかったが、令和元年 9 月 2 日(月) 技術委員長のソニー株式会社小川氏が来局され渡邊理事長と懇談をもった。

渡邊理事長と前期を振り返っての確認や、今後の委員会活動方針などに関しても忌憚のない意見交換が行われた。

また、TOKYO GAME SHOWの周波数プランを組む上でも、大変参考になるアドバイスを頂けた。

③ 特ラ機構 技術賞委員会

令和元年 11 月 1 日(金) から「令和2年度 第 20 回 特ラ機構 技術賞」の募集を開始する。

同日発行の「特ラ機構レポート」171 号に募集の告知を掲載し、発送時に募集案内と応募用紙(推薦書)を同封する。

④ 編集委員会

第 75 回編集委員会は、令和元年 9 月 26 日(木) に当機構事務局にて開催した。出席者は 7 名。170 号を振り返って反省点等を確認した他、171 号への掲載記事の検討、記事作成分担を行なった。

(4) 総務省関係、ARIB 関連の報告

① 総務省関連

令和元年 8 月 26 日(月)、北海道総合通信局電波利用企画課から連絡があり、昨年度から開催しているスマート農業に関する調査検討会にて、ロボットトラクターの遠隔制御について実証試験をおこなうとのこと。その検討項目の 1 つとして、「GLONASS(ロシアの衛星測位システム) と 1.2GHz 帯特定ラジオマイクの周波数共用条件の検討」が挙げられており、本実証試験に係る情報の提供と、当機構から同検討会への助言等の依頼を受けた。

令和元年 9 月 26 日(木)、上記に関連して、北海道総合通信局電波利用企画課から「北海道農業 ICT/IoT 懇談会 第1回 農業のロボット化検討作業班 (WG1)」に関する会合資料等の情報提供を受けた。

② ARIB 関連

令和元年 9 月 4 日(水)、同 10 月 2 日(水) 準マイクロ波帯 FPU 検討 TG (高度化検討) に甲田テクニカルチーフが出席した。

(5) TVホワイトスペース等利用システム運用調整協議会

① 組織・運営の在り方検討班

今期の開催はなかった。

② 統合 DB 作業班

令和元年 9 月 30 日(月) リンク情報システムにより運用連絡システムへの今年度上期改修作業が行われた。

③ 協議会負担金の支払い状況について

令和元年度第 1 四半期の WS 協議会負担金 (免許人登録費・免許登録費・運用調整費) について、合計 1,383,550 円となった。令和元年 9 月 26 日(木) に支払いをおこなった。

令和元年度第 2 四半期の WS 協議会負担金 (免許人登録費・免許登録費・運用調整費) については、現在、WS 協議会側と確認作業をおこなっており、請求額が固まり次第、支払いとなる予定である。

(6) 情報通信月間推進協議会報告

第 3 回運営連絡会の開催日が令和元年 10 月 11 日(金) となっていたが、情報通信月間推進協議会の都合により、11 月 6 日(水) に変更することで調整をしており、正式な開催日の連絡待ちとなっている。

理事会では上記の通り報告したが、理事会当日、11 月 6 日(水) で決定の連絡があり、武藤が出席することになっている。

(7) 令和元年度半期年会費・運用調整費納入状況

年会費・運用調整費の納入状況は、令和元年 9 月 30 日(月) 現在 1,314 件、129,128,944 円

の請求に対し、1,230 件、122,092,572 円(95%)であった。まだ振込のない会員に対しては、個別に振込依頼をおこなっている。

(8) 令和元年度半期決算収支報告

理事会資料 R1-2-02 にて令和元年半期の収支状況を予算との比較で報告した。
令和元年半期収支はほぼ順調に推移している。

(9) 令和 2 年度の再免許手続き

令和 2 年度の再免許（免許更新）手続きは 595 会員、22,513 局の再免許を予定している。令和元年 10 月中旬以降に対象会員へ関係書類を送付する予定となっている。昨年度に引き続いて、非常に多くの無線局がその対象となっている。事務局として適切に対応すると共に、会員の皆様へは必要書類の期限内の提出にご協力をお願いしたい。

(10) 名簿作成（名簿データ確認）

令和元年度名簿データ調査用紙を令和元年 9 月 12 日(木)に全会員へ送付した。また各放送局へは、当機構との窓口となって頂く担当者の調査用紙を令和元年 9 月 13 日(金)に送付した。

(11) ラグビーワールドカップ / 東京オリ・パラ組織委員会

令和元年 9 月 18 日(水) 甲田テクニカルチーフが、味の素スタジアムを訪れラグビーワールドカップ組織委員会渡邊氏に挨拶するとともに、同スタジアム施設課、ラグビーワールドカップ開会式の音響を担当された大阪音響通信研究所の方々とも情報交換をおこなった。
東京オリ・パラ組織委員会からの情報はなかった。

(12) 地上 4K・8K デジタル放送の実験試験局運用について

今年度から、総務省の「地上 4K・8K 放送の実現に向けた研究開発」検討の枠組みが、日本放送協会から放送事業者全体に移行した。このため、令和元年 10 月 4 日(金) 一般社団法人放送サービス高度化推進協会【略称:A-PAB】技術部の水谷統括部長、岩本部長、日向副部長が、NHK テクノロジーズの栗岡担当部長とともに、当機構事務局に来局。今後の実証実験の実施内容等の説明と協力依頼があった。

今年度末には、現在実施されている名古屋・東京地区に加え、福岡地区と大阪地区においても、実験試験局を整備しての電波発射が予定されている。実験期間は名古屋・東京も含めて 4 年間を想定しており、A-PAB が実験試験局の免許人となる。福岡地区は令和 2 年 2 月から UHF51ch を使用、大阪は同年 3 月から UHF19ch を使用し、調整をしながら、段階的に出力を上げていく予定とのことだ。なお、特定ラジオマイクの運用があった際の停波については、名古屋地区同様、柔軟に対応することを確認した。

福岡・大阪地区を含めた電波発射スケジュールなど、特定ラジオマイクに関連する本調査研究開発の情報については、引き続き特ラ機構ホームページおよび特ラ機構レポートで随時告知する予定である。

(13) 短信、その他

① ホームページ更新

8月および9月の更新においては、最新号の「特ラ機構レポート」などの定期更新、「地デジ4K・8K実験試験局情報」の文章内容の変更などに加え、「チャンネルリスト新規追加分」のExcelファイル差し替え、ホームページ内における運用調整費の表記修正など細かい部分の表記を変更した。また周波数配分の対象となるような大規模展示会については、トップページに設けているTwitterアカウント内において、早めの運用連絡票の提出を呼び掛ける試みを実施することにした。

② 電波利用料の改定について

令和元年10月1日(火)、特定ラジオマイクに関する電波利用料について、下表のとおり改定された。

周波数帯	旧利用料	新利用料
TVWS 帯 (470～710MHz)	600 円	400 円
特定ラジオマイク専用帯 (710～714MHz)	600 円	400 円
TVWS 帯 + 特定ラジオマイク専用帯 (470～714MHz)	800 円	900 円
1.2GHz 帯 (1240～1252MHz, 1253～1260MHz)	800 円	900 円

※一局あたりの料額

6. 【審議事項】

(1) 会員の入退会 令和元年8月～令和元年9月分

[入会]

東北：サントリーパブリシティサービス株式会社（山形県総合文化芸術館）

関東：株式会社エス・スリー、豊島区（池袋西口公園）、ビクターミュージックアーツ株式会社（Veats Shibuya）、有限会社ドレミ、公益財団法人としま未来文化財団（豊島区立芸術文化劇場「東京建物 Brillia HALL」）、アニヴェルセル株式会社（アニヴェルセル豊洲）、株式会社ジョイテック（横浜ベイホテル東急）、株式会社 SIGHT AND SOUND（ホテルオークラ東京）、合同会社オージーイベント企画

東海：株式会社静岡 AV センター、株式会社エヌティーピー

近畿：公益財団法人堺市文化振興財団（堺市民芸術文化ホール フェニーチェ堺）、株式会社工房 JINTA

九州：熊本市（熊本城ホール）、株式会社福岡サンパレス（福岡サンパレス ホテル & ホール）

[退会]

九州：有限会社山野事務所

以上、上記会員の入退会について、理事会の承認を得た。

(2) 会員数

令和元年 9 月末現在 1,372 会員

(3) 無線局数

令和元年 9 月末現在 45,458 局

〈内 訳〉

1	470 ～ 714MHz	
	ラジオマイク	35,239 局
	イヤーマニター	2,535 局
2	1.2GHz 帯	
	ラジオマイク	7,684 局
	合 計	45,458 局

[その他]

渡邊理事長から下記についての検討が諮られ、理事の意見を頂いた。

LED との干渉について

舞台では昨今、演出の都合で LED パネルや LED 電飾の使用を求められることが多くなってきた。4 年程前にラジオマイクとイヤモニが LED からの干渉を受けるという事例が発生し、原因究明のための検討会がおこなわれたが、未だに問題解決には至っていない。

LED 発光部や電源部および配線などから発生する電磁波が、ラジオマイクの妨害波となり、イベントや公演に多大な影響を及ぼし兼ねないこと。また、その干渉を回避するためには、予備の指向性アンテナや送受信機などの事前準備が必要になる。

この 2 点をスタッフで共有するためには、映像と音響だけでなく、制作・演出・舞台監督を加えての、事前打ち合わせが必須だと考えている。

今後、特ラ機構として実施すべきこと

- ・ 特定ラジオマイクを利用するには、事前の運用連絡と他者との運用調整が必要だということ、主催者側に強く訴えていく必要がある。そのための方策を考え、実行していくことが重要。
- ・ 会員からの干渉事例や回避した方法などを、レポートやホームページを介して仔細に公開していくことが必要。
- ・ ハンドブックやポスターを作成し、配布することを計画する。
- ・ 技術委員会等でセミナーを企画・開催し、啓蒙していく。

以上のことが話し合われ、機構事務局で実施を検討することとした。

次回理事会 (予定)

日 時 : 令和元年 12 月 4 日(水) 15:00 ～ 17:00
場 所 : 中野サンプラザ 6F フラワールーム

運用連絡と調整の総件数

2019年4月～2019年7月

理事会資料 R1-2-01_a

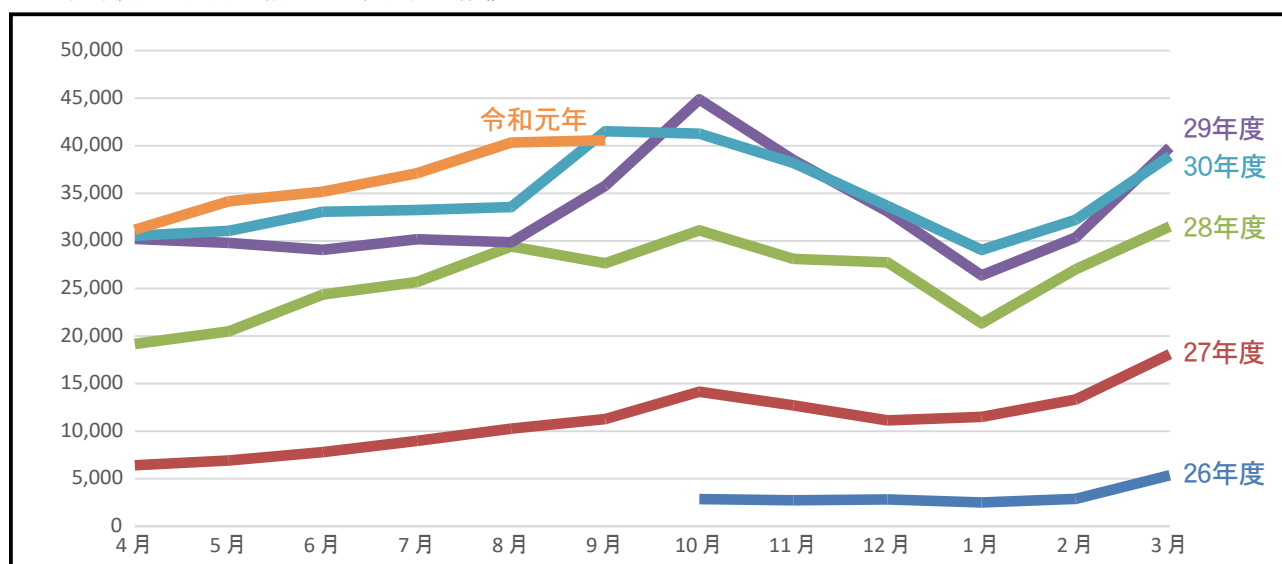
1. 最新の運用連絡・調整総件数（新周波数帯）

各年度月別運用連絡・調整総件数

2019.09.30 現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
26年度							2,858	2,730	2,825	2,501	2,880	5,366	19,160	3,193
27年度	6,412	6,913	7,797	8,969	10,260	11,271	14,135	12,704	11,130	11,499	13,329	18,092	132,511	11,043
28年度	19,161	20,485	24,364	25,677	29,417	27,646	31,100	28,105	27,738	21,327	27,008	31,517	313,545	26,129
29年度	30,200	29,790	29,054	30,167	29,850	35,787	44,869	38,505	33,078	26,371	30,352	39,830	397,853	33,154
30年度	30,533	31,047	33,057	33,238	33,549	41,522	41,272	38,187	33,660	29,050	32,212	38,932	416,259	34,688
令和元年	31,169	34,164	35,164	37,111	40,334	40,570								

各年度月別運用連絡・調整総件数の推移



2. 当期（2019年8月～9月）と前年同期（2018年8月～9月）の 2ヶ月間の運用連絡・調整総件数の比較

（1）運用連絡・調整総件数

前年同期に比して 5,833 件の増となった。

（2）連絡（受信）件数と調整（送信）件数の比率

運用連絡件数（受信数）を見みると、2017年（27,882）、2018年（30,375）、2019年（32,491）と、徐々に増加している。

8・9月、2ヶ月間の連絡件数に対する調整件数の比率では、前年同期が1.47倍、当期は1.49倍であった。

8月の総件数は過去2年と比較して増加し、当期の8月と9月はほぼ同じ件数になった。

3. H29 年度 (2017) と H30 年度 (2018) の比較

各年度各月別運用連絡・調整総件数

2019.04.16 現在

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	月平均
26 年度							2,858	2,730	2,825	2,501	2,880	5,366	19,160	3,193
27 年度	6,412	6,913	7,797	8,969	10,260	11,271	14,135	12,704	11,130	11,499	13,329	18,092	132,511	11,043
28 年度	19,161	20,485	24,364	25,677	29,417	27,646	31,100	28,105	27,738	21,327	27,008	31,517	313,545	26,129
29 年度	30,200	29,790	29,054	30,167	29,850	35,787	44,869	38,505	33,078	26,371	30,352	39,830	397,853	33,154
30 年度	30,533	31,047	33,057	33,238	33,549	41,522	41,272	38,187	33,660	29,050	32,212	38,932	416,259	34,688
29-30 比	333 増	1,257 増	4,003 増	3,071 増	3,699 増	5,735 増	3,597 減	347 減	582 増	2,679 増	1,860 増	898 減	18,406 増	1,534 増

4. 特定ラジオマイクが運用された主なイベント

(令和元年 8 月～ 9 月)

理事会資料 R1-2-01_b

イベント名	日 程	施 設	運用 社数	ブース数	マイク・イヤモニ			計
					TVWS	TVWS 711-714	1.2GHz	
楽天 OPTIMISM 2019 他 (含コンサート)	7/31 - 8/3	パシフィコ横浜	8	8	66	8		74
グラブルエクストラフェス大阪 (含握手会)	8/3 - 8/4	インテックス大阪	5	5	67	3		70
下水道展 2019 他	8/6 - 8/9	パシフィコ横浜	10	12	44	6	14	64
癒しフェア 2019 他	8/15 - 8/18	東京ビッグサイト	5	6	36	5	38	79
日経 I R フェア 他	8/23 - 8/24	東京ビッグサイト	10	15	7	3	27	37
C 3 A F A T O K Y O 他 ※	8/23 - 8/25	幕張メッセ	8	8	79	5	11	95
アフリカ開発会議	8/28 - 8/30	パシフィコ横浜	6	6	4	8	38	50
JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 他	8/29 - 8/31	幕張メッセ	8	8	28	4	16	48
TOKYO GAME SHOW 2019 ※	9/12 - 9/15	幕張メッセ	25	41	275	8	76	359
国際福祉機器展 2019 ※	9/25 - 9/27	東京ビッグサイト	17	19	29	8	37	74
関西スマートグリッド EXPO 他	9/25 - 9/27	インテックス大阪	6	7	3	2	25	30
GIRLS AWARD 2019	9/28	幕張メッセ	3	3	67		11	78

運用局数 20 局以上を表記 ※周波数配分イベント

表 1

令和元年 8 月から 9 月の 2 ヶ月間に、主な施設で特定ラジオマイクが運用されたイベントは 91 件あった。昨年は 79 件だったのでイベント件数は増加した。

これらの施設では、その他にコンサートが 27 件、握手会・ハイタッチ会が 11 件開催された。

上記の表は特定ラジオマイクが 20 局以上運用されたもので、「※」のあるイベントでは事務局によって周波数配分をおこなった。

幕張メッセで開催された「SUMMER SONIC」では 20 件の運用連絡があり、専用帯を含めた TVWS 帯 127 局、1.2GHz 帯は 6 局が運用された。本イベントでは、主催者側にて周波数調整をおこなった。

以下、事務局にて周波数配分をおこなったイベントの詳細を報告する。

5. イベント報告 周波数配分

理事会資料 R1-2-01_bc

「C3AFA TOKYO」他

幕張メッセ「ホール1～3」でのゲーム関連イベントと「ホール4～6」の乃木坂46のイベントが重なり、運用局数が多かったことから周波数配分をおこなった。

「TOKYO GAME SHOW 2019」

幕張メッセの全ホール（1～11）に於いて、25社41ブース TVWS帯275局、専用帯8局、1.2GHz帯76局 合計359局が運用され、その周波数プランをおこなった。

TVWS帯に於いては混雑することが各社にあらかじめ理解されており、送信機も帯域を分散したかたちで準備頂いたところが多かった。その結果、チャンネルリストにある全ての周波数帯域を平均的に割り当てることができたと感じている。

1.2GHz帯に於いては、占有周波数帯域幅が288kHzのSONY製マイクが28局運用されるため、隣接チャンネルとの間隔を500kHzにとった。さらに運用局数を増やすため、その500kHz間隔の中心周波数に隣接チャンネルのマイクとは100m以上離れた地点の占有周波数帯域幅192kHzのShureを割り当てることとした。

「国際福祉機器展 2019」

東京ビッグサイト西・南ホール（1～4）に於いて、1.2GHz帯37局の周波数配分をおこなった。

同展示会でのTVWS帯の運用は、9月23日(月) 午後の段階で送信機の周波数範囲を分けると低域、中域、高域の各帯域内で、それぞれ2～3社に分類することができた。そのため周波数配分をおこなわなかったが、24日(火) 午前中に干渉事故が発生した。

今後、展示会などではブースごとに搬入日が異なるケースもあり、安全確認の重要性が増してくると思われるが、いずれにしても早めの運用連絡をお願いしたい。



6. 干渉報告

「TOKYO GAME SHOW」(Samsung ブース)

9月13日(金)のリハーサル中に、472.675MHzに干渉によると思われるノイズが発生したとの報告を受けた。予備チャンネルをお伝えしたが、本番では472.675MHzを使用したとの事。

隣接する他のブースにおいて、仕込み時に周波数を変更したことによって発生した問題だと思われるが、指定された周波数以外の発信にはご注意頂きたい。

「国際福祉機器展」

9月24日(火) 午前9時～10時頃、東京ビッグサイト西1ホール、総合舞台が担当するHONDAブースにおいてTV14chに2回程の干渉が発生した。

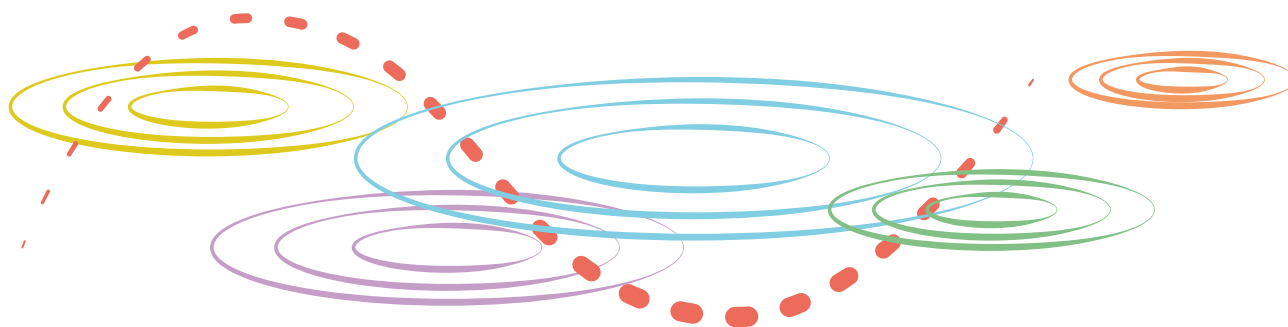
干渉元は24日当日より搬入を開始したA社と分かったが、同社の事務局への運用連絡は前日の午後7時過ぎに入り、事務局の入力処理は24日午前9時半となった。A社には電話連絡をおこない、先行者である総合舞台がTV13.14chで運用している旨を伝えた。なお、総合舞台からの報告によると、A社からはメールにて「TV14chを2波使用します。」とのメッセージがあったとの事。

A社に対しては、注意喚起のため事務局から連絡を入れた。

「シャトーアмерバスタジオ 1.2GHz 帯」

9月29日(日) 渋谷区神宮前にあるシャトーアмерバスタジオに於いて、Abema TV「日村がゆく」番組収録中に、1250.000MHzに干渉が発生したとの報告を、同スタジオを運営するサイバーエージェントの担当者から受けた。同スタジオ周辺での他無線局の運用を検索してみたが該当するような運用は無く、原因は不明である。

以上



令和元年度 一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構 会長・理事・監事名簿

役 職	氏 名	所属団体・会社	部署	役職
1	会 長 やはた やすひこ 八幡 泰彦	(株) エス・シー・アライアンス		ファウンダー
2	理 事 長 わたなべ くにお 渡邊 邦男	(公社) 日本舞台音響家協会		理事長
3	理 事 いけがみ いくお 池上 行大	(株) 千代田ビデオ		
4	理 事 いしばし とおる 石橋 透	学識経験者		
5	理 事 うえだ こうせい 上田 好生	(公財) 新国立劇場運営財団 技術部		音響課長
6	理 事 おの よしゆき 小野 良行	ヒビノ(株) ヒビノプロオーディオセールス DIV.		
7	理 事 おまた きみひろ 小俣 公洋	(株) 共立 舞台制作事業本部 営業部		営業課長
8	理 事 かねみつ ひろあき 金光 浩昭	(株) 三光 音響部		副部長
9	理 事 きたぐち のりお 北口 紀雄	(株) ティー・ピー・オー		代表取締役
10	理 事 こばやし けい 小林 敬	(株) エディスグローヴ		代表取締役
11	理 事 こ ま しんご 小間 新五	(株) サークル 取締役統括本部		本部長
12	理 事 すずき ひさとし 鈴木 久利	学識経験者		
13	理 事 ながや としゆき 永谷 俊之	(株) NHKテクノロジーズ 放送技術本部音声部		
14	理 事 にしざわ かつゆき 西澤 勝之	日本舞台音響事業協同組合 (株) クレア・ジャパン		理事長 代表取締役会長
15	理 事 のりゆき まさのぶ 則行 正信	(株) ドリーム		代表取締役
16	理 事 はぎわら けいご 萩原 桂吾	(株) 総合舞台 音響部統括		取締役
17	理 事 はしもと き よし 橋本喜代志	(株) アートウィズ		セールスエンジニア
18	理 事 はしもと ひでゆき 橋本 秀幸	(株) テーク・ワン 技術本部		部長
19	理 事 ほんま としや 本間 俊哉	東宝(株) 帝国劇場 (株) フリックプロ		代表取締役
20	理 事 みぎた けんすけ 右田 研介	(株) 若尾総合舞台		取締役
21	理 事 よしだ ひろし 吉田 廣嗣	学識経験者		
22	監 事 いとう ひろし 伊藤 博	学識経験者		
23	監 事 くにえだ よしひさ 國枝 義久	学識経験者		

令和元年 10 月現在

新規加入会員紹介コーナー

令和元年 8 月～ 9 月

東 北

●サントリーパブリシティサービス株式会社（山形県総合文化芸術館） 会員番号 020-0049

代表取締役 間野 文祥 入会：令和元年 8 月 19 日 固定 シュア…16 局
〒990-0828 山形市双葉町 1-2-38

運用担当者 木佐美 麻有 TEL 023-664-2220 E メール mayu.kizami@sps.sgn.ne.jp

【ひとこと】山形県の新たな文化発信拠点として 2020 年 3 月 29 日にグランドオープンします。山形の魅力がたっぷり詰まった素晴らしいホールに、ぜひ足をお運びください。

関 東

●株式会社エス・スリー 会員番号 030-0969

代表取締役 中居 慎介 入会：令和元年 8 月 2 日 移動 シュア…4 局
〒142-0054 品川区西中延 1-2-17

運用担当者 中居 慎介 TEL 090-4534-5965 E メール nakai@s-three.jp

●豊島区（池袋西口公園） 会員番号 030-0970

豊島区長 高野 之夫 入会：令和元年 8 月 9 日 固定 シュア…8 局
〒171-0021 豊島区西池袋 1-8-26

運用担当者 佐藤 誠 TEL 03-6912-5211 E メール satou.makoto-sgbs@sogobutai.co.jp

●ビクターミュージックアーツ株式会社（Veats Shibuya） 会員番号 030-0971

代表取締役 衛藤 祐一郎 入会：令和元年 8 月 14 日 固定 シュア…4 局
〒150-0042 渋谷区宇田川町 33-1

運用担当者 川上 貴也 TEL03-5467-6390 E メール takaya_kawakami@ve.jvcmusic.co.jp

●有限会社ドレミ 会員番号 030-0972

取締役 後藤 里志 入会：令和元年 8 月 22 日 移動 シュア…2 局
〒272-0021 市川市八幡 3-15-8

運用担当者 後藤 里志 TEL047-320-0300 E メール gotou@newdrum-e.net

●公益財団法人としま未来文化財団 会員番号 030-0973 （豊島区立芸術文化劇場「東京建物 Brillia HALL」）

理事長 高野 之夫 入会：令和元年 8 月 22 日 固定 シュア…16 局
〒170-0013 豊島区東池袋 1-19-1

運用担当者 佐藤 陽子 TEL 03-6384-4031 E メール y-sato@toshima-mirai.or.jp

【ひとこと】Hareza 池袋に開館いたします、定員 1300 人の劇場です。

演劇の他、ミュージカル・歌舞伎も上演予定です。安定的なワイヤレスの運用を心がけていきたいと思っています。
よろしくお願いいたします。

●アニヴェルセル株式会社（アニヴェルセル豊洲）

会員番号 030-0974

代表取締役 松田 健一

入会：令和元年 8 月 30 日 固定 オーディオテクニカ…3 局

〒135-0061 江東区豊洲 2-1-7

運用担当者 西尾 政行

TEL 03-5560-1122 E メール masayuki.nishio@anniversaire.co.jp

●株式会社ジョイテック（横浜ベイホテル東急）

会員番号 030-0975

代表代表取締役 村山 泰弘

入会：令和元年 8 月 30 日

固定

シュア…2 局

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 2-3-7

運用担当者 木村 誠

TEL045-640-6041 E メール yokohama@joytech-net.com

●株式会社 SIGHT AND SOUND（ホテルオークラ東京）

会員番号 030-0976

代表取締役社長 南崎 康貴

入会：令和元年 9 月 9 日

固定

シュア…12 局

〒105-0001 港区虎ノ門 2-10-4

運用担当者 柳澤 佐世子

TEL 03-6273-0831 E メール yanagisawa-sayoko@sightandsound.co.jp

●合同会社オージーイベント企画

会員番号 030-0977

代表社員 林 一茂

入会：令和元年 9 月 13 日

移動

シュア…4 局

〒125-0052 葛飾区柴又 7-7-26-3

運用担当者 林 一茂

TEL080-4157-2854 E メール hayashik@me.com

【ひとこと】よりよいイベント、式典、お祭りになるように、小さい力ですがスタッフ一同励んでおります。宜しくお願い致します。

東 海

●株式会社静岡 AV センター

会員番号 060-0138

代表取締役 牧田 雅夫

入会：令和元年 8 月 16 日

移動

シュア…2 局

〒422-8072 静岡市駿河区小黑 2-1-11

運用担当者 黒崎 太郎

TEL054-282-1678 E メール s-avc@tokai.or.jp

●株式会社エヌティーピー

会員番号 060-0139

代表取締役 岡 二郎

入会：令和元年 9 月 17 日

移動

ソニー…2 局

〒461-0005 名古屋市東区東桜 2-10-10

運用担当者 倉橋 宏彰

TEL052-931-4131 E メール ntp-audio@n-t-p.co.jp

【ひとこと】当社は名古屋を中心に中継、スタジオ、ドラマから、字幕制作、特機、設備、アシスタント派遣まで行う、映像総合技術プロダクションです。宜しくお願い致します。

近 畿

●公益財団法人堺市文化振興財団

（堺市民芸術文化ホール フェニーチェ堺）

会員番号 070-0305

理事長 梅原 利之

入会：令和元年 9 月 3 日

固定

シュア…60 局

〒590-0061 堺市堺区翁橋町 2-1-1

運用担当者 久保 剛

TEL072-232-0220 E メール kubo-t@sakai-bunshin.com

●株式会社工房 JINTA

会員番号 070-0306

代表取締役 森 基生

入会：令和元年 9 月 3 日

移動

シュア…4 局

〒 522-0043 彦根市小泉町 78-19

運用担当者 森 基生

TEL0749-23-0082 E メール mail@jinta.co.jp

【ひとこと】びわ湖のある街を拠点に、全国で楽しく舞台イベントを運営させていただいています。何かの折に、皆様にお出
会える事もあると思いますので、お見知り置きいただけると幸いです。

九 州

●熊本市（熊本城ホール）

会員番号 100-0094

市長 大西 一史

入会：令和元年 8 月 16 日

固定

シュア…32 局
パナソニック…20 局

〒 860-0805 熊本市中央区桜町 3-40

運用担当者 山崎 雅洋

TEL096-312-3737 E メール yamasaki@c-linkage.co.jp

●株式会社福岡サンパレス（福岡サンパレス ホテル&ホール）

会員番号 100-0095

代表取締役社長兼会長 中川 百合雄

入会：令和元年 9 月 20 日

固定

シュア…8 局

〒 812-0021 福岡市博多区築港本町 2-1

運用担当者 石井 明弘

TEL092-272-1128 E メール ishii@f-sunpalace.com

【ひとこと】西日本最大級のコンサートホールとして、広くご利用いただいております。
ホテルも併設しておりますので、ぜひお立ち寄りください。



特ラ機構 第19回技術賞 受賞者コメント

学生部門 金 賞 **日本大学 芸術学部 映画学科 前田 瑠香**
映画作品 「Not a Hero」

この度は学生部門金賞という光栄な賞を頂けて誠に感謝申し上げます。それに引き換え、表彰式に参加できなかったこと、誠に申し訳ございませんでした。

昨年金賞と八幡賞を頂いた際、「来年の卒業制作も同じメンバーで作ってまた金賞をとれるように頑張りたい!」と発言したことを思い出し、そしてその目標を叶えることが出来ました。この目標を叶えられたのは監督、撮影の2人や手伝ってくれたスタッフ、先生方、特定ラジオマイク運用調整機構の皆様、この作品に関わった全ての方達のおかげだと心から思っております。

私が今回の映画作りで最もこだわったダイナミックレンジを広く作る点が、映画を観た皆様楽しんで頂ける1つの要素になっていたら幸いです。

前田 瑠香



学生部門 金賞の「盾」



昨年受賞時の前田 瑠香様

特ラ機構 第19回技術賞 受賞者コメント

学生部門 奨励賞

日本大学 芸術学部 映画学科 田辺 ちひろ
映画作品 「放課後ハレルーヤ」

この度は特ラ機構学生部門奨励賞をいただき、誠にありがとうございました。

放課後ハレルーヤは昨年度の三年生の時の実習で制作した作品です。この作品の主となる家のロケ地は実際に使用している家を借りての撮影だったため、様々な音が入ってしまいカットごとの音の差が生まれMA作業ではとても苦労しました。また画に写っていない人のセリフの聞こえ方も試行錯誤を繰り返しながら作業を行いました。

そしてこの作品の制作では実際に自ら録音を行いMA作業を行なったことで、今まで感じたことがなかった音の大切さを実感し音の楽しさを感じることができました。しかし受賞式でも指摘いただいた通り、環境音は画に合わせた広がりなどをつけられたらもっと奥行きが出たのではないかなと感じております。

四年生の卒業制作ではこの作品での失敗や反省を生かし、画に合った音作り、そして作品を引き立てるような音を作りたいと思います。

この度は、ありがとうございました。

田辺 ちひろ



学生部門 奨励賞の「盾」



田辺ちひろ様（右側）

特ラ機構 第19回技術賞 受賞者コメント

一般部門 銀賞 ソニー・太陽株式会社 ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ株式会社 SONY マイクロホン ECM-90シリーズ

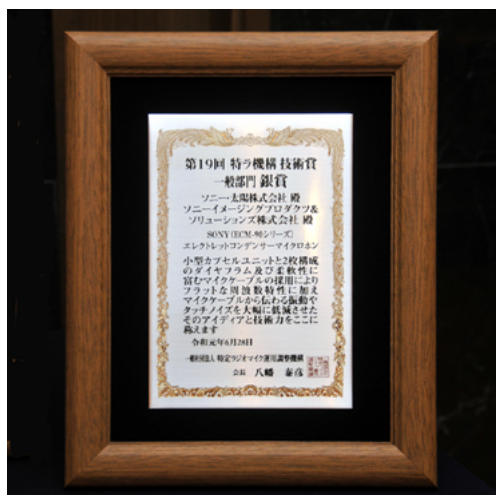
この度は、マイクロホン ECM-90 シリーズにおきまして、特ラ機構技術賞 一般部門 銀賞をいただきまして、誠にありがとうございました。

このマイクロホンの開発にあたっては、タイピンマイクとしての目立ちにくさ、仕込みやすさを狙って口径 3.5mm 角の小型化や柔軟なケーブルを採用するだけでなく、2 枚構成のダイアフラム採用のマイクカプセルとすることでメカニカルな伝搬ノイズを劇的に低減、かつ感度を稼ぐとともに、フラットな特性による音づくりにも工夫をしました。この構造と性能を満たすためには、高い加工精度が不可欠になりますが、社内の加工技術で実現しております。結果、特長のある製品を生み出すことが出来ました。

日頃からマイクを道具として使われている方々の声を伺うことは我々開発者にとって大変重要なことだと認識しておりますが、この度の表彰式 / 懇親会におきまして、本当に沢山の制作現場の方々とお話しする機会をいただきました。マイクの防水対策には苦労があり、音質を犠牲にしてまで対策を余儀なくされているなどの「現状」に対する叱咤激励をいただいたこと、集音現場やホールにおける「良い音づくり」へのこだわりなどについても伺いでき、音響エンジニアの方々が求める「使える道具」を提供する大切さ改めて実感することができました。新たな技術や新素材の活用などにも目を向け、制作者が音づくりに集中できるような道具が提供できるよう、今後もより良いマイク開発を追求していきたいと思います。

受賞のお礼と共に、この度はとても貴重な機会をいただき誠にありがとうございました。

ソニー・太陽株式会社 小野 唯



一般部門 銀賞の「盾」



小野 唯様（中央）と 山下 仁様（右）

2020年 第20回 特定ラジオマイク運用調整機構 技術賞 募集！

2020年「特ラ機構 技術賞」の募集を11月1日より開始いたします。
締め切り 令和2年3月31日(火)

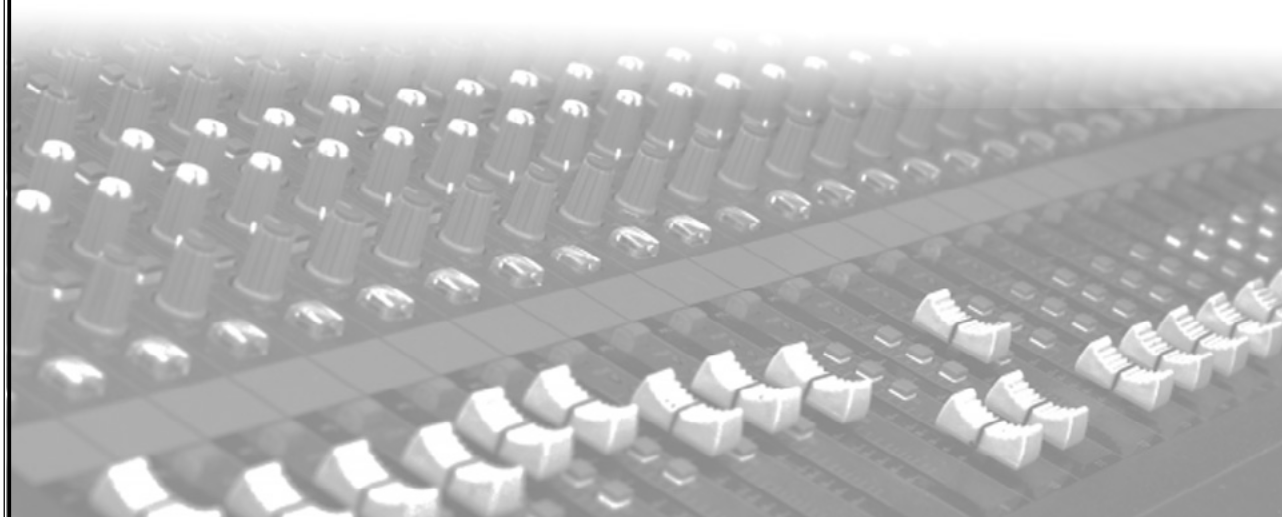
選定の対象と種類

平成31年1月1日から令和2年3月31日までの、1年3ヶ月間（15ヶ月）における作品で下記に該当すると思われるものをご推薦願います。

なお、この賞は会員全てに応募の権利があり、特定ラジオマイクの本数とは関係ありません。地方色豊かな創作劇などの作品やイベントの記録、放送番組など、身近な作品の応募をお待ちしております。

- | | |
|--------|-------------------------|
| 1 一般部門 | 「舞台、イベント」「TV、映画作品」「その他」 |
| 2 学生部門 | 「全てのジャンル」 |

※ 詳しくは、本号に同封の募集要項をご覧ください。



マラソン、駅伝・イベントの情報

夏の猛暑から、10月に入っても衣替えも決定できない日が続いたり、台風15号・19号で大きな被害も受けました。被災地の皆様には、謹んでお見舞い申し上げます。

11月ともなれば、秋は確実に深まり、マラソン、駅伝も盛んになる季節です。

コースに近接する施設等での使用は、中継放送局等とのスムーズな打ち合わせを図るためにも、**早めの運用連絡（日・祭日を除く2日前までが原則ですが、大規模な展示会等ではさらに余裕をもって）**をお願い致します。

マラソン、駅伝は（公財）日本陸上競技連盟の主要競技会日程から、イベントは各会場のイベントカレンダーから拾いました。11月中旬から令和2年1月中旬までです。

マラソン・駅伝

日 程	競 技 会 名	場 所
11月10日	第35回東日本女子駅伝	福 島（福 島）
11月17日	第9回 神戸マラソン	兵 庫（神 戸）
11月24日	第39回 全日本実業団対抗女子駅伝競走大会	宮 城（仙 台）
12月 1日	第9回大阪マラソン	大 坂（大 阪）
12月 1日	第73回 福岡国際マラソン選手権大会	福 岡（福 岡）
12月 8日	第5回さいたま国際マラソン	埼 玉（さいたま）
12月15日	第27回全国中学校駅伝大会	滋 賀（希望ヶ丘）
12月22日	男子第70回 女子第31回 全国高等学校駅伝競走大会	京 都（京 都）
1月 1日	第64回 全日本実業団対抗駅伝競走大会 (ニューイヤー駅伝2020)	群 馬（前 橋）
1月 2日～3日	第96回 東京箱根間往復大学駅伝大会	東 京 ⇄ 箱 根
1月12日	第38回 皇后杯 全国都道府県対抗女子駅伝	京 都（京 都）
1月19日	第25回 天皇杯 全国都道府県対抗男子駅伝	広 島（広 島）

イベント

日 程	展 示 会 名	会 場
11月 3日～ 4日	★ 冬スポ WINTER SPORTS FESTA19	幕張メッセ
11月24日～25日	★ 東京ネイルエキスポ2019	東京ビッグサイト
11月 8日～10日	★ 冬スポ WINTER SPORTS FESTA19	さいたまスーパーアリーナ
11月13日～15日	★ Inter BEE 2019	幕張メッセ
11月15日～17日	★ 冬スポ WINTER SPORTS FESTA19	パシフィコ横浜
12月 5日～ 7日	★ エコプロ 2019 持続可能な社会の実現に向けて	東京ビッグサイト
12月11日～13日	セミコン・ジャパン2019	東京ビッグサイト
12月28日～31日	★ COUNTDOWN JAPAN 19/20	幕張メッセ
1月10日～12日	★ TOKYO AUTO SALON 2020	幕張メッセ

★：複数会員社による同時使用実績あり

♪ ルールを守って クリアな運用 ♪



地上デジタル放送の高度化(4K・8K)に向けた電波発射について 「東京・名古屋地区に続き、大阪・福岡地区での実施」

これまでの特ラ機構レポートでお知らせしているとおり、地上デジタル放送の高度化に向けた実証実験の電波発射が、昨年度から東京地区と名古屋地区で実施されています。

今年度は、総務省技術試験事務の一環で、一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)が、東京・名古屋に加え、大阪・福岡地区において実証実験を予定しています。

2020年2月からUHF51chを使用し福岡地区で、2020年3月からUHF19chを使用し大阪地区で、それぞれ電波を発射する予定です。

これらの電波発射については、関係の皆様と調整をしながら進めていくとのことです。

今後の電波発射スケジュール等については、放送サービス高度化推進協会(A-PAB)の「地デジ高度化実験受信対策センター」ホームページで情報提供されていますので、ご確認ください。

<http://www.tvkoudoka.jp/>

また、当機構ホームページに開設している「地デジ4K・8K実験試験局情報」では、大阪・福岡地区を含めた電波発射スケジュールや運用調整など、特定ラジオマイクに関連する情報をダイレクトにお伝えしています。ご活用ください。

<https://www.radiomic.org/>

特ラ機構事務局 電話：03-5273-9806

東京・名古屋地区ともに、会員の皆様のご理解ご協力により、円滑な運用調整のもと、実証実験が進められております。会員の皆様には引き続きご不便をおかけするかと存じますが、何卒よろしくお願い致します。。

ちょっとブレイク

「鳥ビア」

みなさまはじめまして。7月から特ラ機構に入局しました。渡辺聖尚（きよたか）と申します。まだ、不慣れでわからないことばかりではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

はじめての「ちょっとブレイク」の担当ということもあり自己紹介を兼ねまして、今回は私の好きな『鳥』についてお話をさせていただきたいと思います。



人間でいえば、車の窓から通り過ぎる看板をみるときに首を左右に振ったほうが見やすいといった感覚でしょうか。ちなみに首を振るのはハトだけではなくニワトリやムクドリなど足を交互に出して歩く鳥の特徴だそうです。

カラスは1羽1羽鳴き声が違う

カラスの鳴き声といえば「カァカァ」ですが、よく聞くと鳴き声が個体によって違うそうです。都会に住むカラスはお互いの姿が見えません。そこで誰が誰かわかるように鳴くことで効率よく情報を伝達しているそうです。ちなみに私が鳴き声を聞き比べたところ、全然わかりませんでした。また鳴く回数により情報を伝えているという説もあり「カァ」1回だと挨拶、2回だと注意喚起などといわれています。

ハトが首を振るのは

街中でハトがポッポと首を前後に動かしながら歩いている姿をよく見かけると思います。この首の動きにはちゃんとした理由があるんです。ハトの目は人間と違って横向きについています。そのため歩いて前に進むと景色が前から後ろへと流れ、エサなどを見つけるのがとても大変です。そこで編み出されたのが首振り歩行。歩くスピードに合わせ首を前後に振ることで景色を固定することができるのです。

ツバメの巣は自然界にない！？

春先に子育てのため日本にやってくるツバメ。彼らはその他の鳥とは違い、家の軒先など、人間の近くに積極的に巣を作ります。その理由は彼らが人間を利用しているからだといわれています。彼らの天敵はタカなどの捕食者、人間の出入りの多い場所にタカなどは近づかないため彼らはそこに巣を作るのです。一方で人間は害虫を食べてくれるツバメを大切に、彼らを追いやりはしません。お互いウィンウィンな共生関係にあるそうです。そのためか日本でツバメの巣は人工の建築物以外から見つかったことがないそうです。ツバメにも様々な種類がありますが、このような特徴を持つのは彼らだけといわれています。

このほかにもキジが国鳥になったのは桃太郎のおかげだとか、「おしどり夫婦」で知られるオシドリは毎年パートナーを変えるなど、身近な鳥であっても意外と知られていないことがたくさんあります。街中で彼らを見かけた時、一挙手一投足に注目してみたいはいかがでしょうか。

（渡辺 聖尚）

「運用連絡票」の未提出・提出遅れによる **混信事故が増えています!**

特定ラジオマイクの運用調整に必要な『**運用連絡票**』（※1）は、
極力、**運用2日前**（※2）までに当機構事務局へ提出して下さい。

- 運用直前の『運用連絡票』提出は、
運用調整のための打ち合わせが出来なくなる恐れがあります。
- 必要な打ち合わせをしないで電波を発射した場合、
他ユーザーと混信して相手方に多大な迷惑がかかる恐れがあります。

特定ラジオマイクのクリアな運用環境に、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

※1 固定会員は『運用連絡票』を提出する必要はありません

※2 当機構事務局が休みとなる日・祭日を除いた2日前です

ご不明な点は当機構事務局までお気軽にお問い合わせ下さい

一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構 事務局

電話：03-5273-9806

<https://www.radiomic.org/>

事務局便り



■令和 2 年（平成 32 年）5 月末日に失効の 特定ラジオマイク無線局免許をお持ちの皆様へ

令和 2 年（平成 32 年）5 月末日に失効する、特定ラジオマイク無線局の再免許（免許更新）準備の時期になりました。当該会員様には、事務局から関係書類を送付しておりますのでご確認下さい。

※委任状等の必要書類は、必ず期限内にご返送頂きますようお願い致します。

事務局免許担当／石川・坂入

■電波利用料の改定について

会員皆様が国へ納めて頂いている電波利用料について、令和元年 10 月 1 日から下表のとおり改定されました。

※電波利用料の応当日が「10 月 1 日」以降の免許について、新しい利用料の対象となります。（無線局免許状の「免許の年月日」が、10 月 1 日以降のもの）

周波数帯	旧利用料	新利用料
TVWS 帯 (470 ～ 710MHz)	600 円	400 円
特定ラジオマイク専用帯 (710 ～ 714MHz)	600 円	400 円
TVWS 帯 + 特定ラジオマイク専用帯 (470 ～ 714MHz)	800 円	900 円
1.2GHz 帯 (1240 ～ 1252MHz, 1253 ～ 1260MHz)	800 円	900 円

※ 1 局あたりの料額です

■機構関係費用未納分お振込みのお願い

2019 年度分機構関係費用をまだお振込みされていない会員社は、ご確認のうえ、お振込をお願いいたします。機構関係費用は定款第 12 条 (1) により、2 年の滞納で理事会審議、総会議決を経て通知退会（除名）になり、マイクが使用できなくなりますのでご注意ください。

編集後記

先日、地元の酒蔵会社が主催する、ひやおろしの試飲と「箏・三絃・尺八の夕べ」の招待を受けました。酒造会社の敷地内にあるコミュニティーホールは、蔵見学のお客様用として造られた、全面板張り、木材と日本酒の香りが漂う和の空間で、広さは 30 坪 (100 m²) ほど、各種イベントやミニコンサートなど音響空間としても最適なホールです。

琴・十七弦・三味線・尺八の生音を久々に聞き、ひやおろしをご馳走になり、耳と五臓六腑への良い刺激を受け、五勺の酒で酔う私ですが？ 生音・生酒で有意義なひとときでした。

これからも、火を通さない・マイクを通さない、生を利く場が欲しいですね。

（武藤）